

新学術領域研究「ナノメディシン分子科学」＋

「超高速バイオアセンブラ」合同若手会

2015 年 10 月 31 日-11 月 1 日 於:大阪府池田市 不死王閣

大阪大学基礎工学研究科 新岡宏彦

新学術領域研究「ナノメディシン分子科学」と新学術領域研究「超高速バイオアセンブラ」による合同若手会を大阪府池田市の不死王閣にて開催致しました。大阪大学の三宅先生からの挨拶の後、3名の先生から基調講演を、4名若手研究者による一般口頭講演、その後、9名の若手研究者によるポスター発表を行なって頂きました。基調講演では、岡山大学の大槻先生から「光を用いた細胞内への物質導入」、京都大学の安達先生からは「多細胞組織の形態形成におけるマイクロ・ナノバイオメカニクス」、東京理科大学の由井先生からは「レーザー誘起表面変位顕微鏡の開発と細胞膜粘弾性計測への展開」のタイトルでご講演頂きました。活発な質疑および討論があり、盛会となりました。

新学術領域「超高速バイオアセンブラ」との合同若手会ということで、細胞や生体分子の制御やバイオマテリアル、再生組織工学、計測・イメージング等幅広い分野のご講演がありました。それぞれの領域を超えた人的ネットワークの形成により、今後、新たな研究あるいは学術分野創出の基盤を作ることが一つの目的でしたが、それを達成できたように思慮いたします。今回のような活気のある会を開催し、今後ネットワークを継続的に保持する事が重要であると認識しました(反省点となりますが、その場でアンケートを行い、皆様にご報告できれば良かったと思います。)

ポスター発表後は懇親会を開催し、研究者同士の交流をより深めると共に様々な意見を交換しました。また、参加者全員ではないですが夜 22 時頃まで闊達な議論を交わしまして、新たな研究の萌芽を感じた次第です。

会場は大阪の近郊・池田市のはずれにあるのですが、溪谷の景観と紅葉を楽しむことができます。結構な環境で実施できたことも幸いでした。末筆ながら、ご参加いただいた方々に謝し、また石原一彦先生および事務局からのご支援に深く感謝申し上げます。

